

平成27年度 学校教育目標

『認め合い 支え合い 高め合う学校』

○めざす子ども像

- ・自ら考え、努力する子
- ・ちがいを大切にし、分かち合える子
- ・心と体を鍛え、自他の生命と体を大切にする子
- ・人とのつながりを大切にし、地域を愛する子
- ・社会の変化に柔軟に対応できる子

○本年度の重点目標

- ・言語活動の充実を図り、思考力を高める授業づくり
- ・認め合い、支え合える集団づくり
- ・いろいろな運動を通じた体力づくり
- ・人とのつながりを大切にした体験活動

何事にも挑戦し、努力を惜しまず、やさしさと人とのつながりを大切にし、社会の変化に対応できる子の育成を目指し、学校教育目標を「認め合い 支え合い 高め合う学校」とした。昨年度は、「考える力」を育む授業実践と、人間形成の基礎となる徳育を進めてきた。今年度は、さらに「運動を通じた体力づくり」の推進もめざし、上記のような重点目標を設定し、めざす子ども像に近づけていけるよう教育活動を行っていく。

1. 「言語活動の充実を図り、思考力を高める授業づくり」

- ・「言語活動の充実」「対話する力を育成」「思考スキルの取得」を中心に、子どもたちが主体的にいきいきと学ぶ授業の創造を進め、思考力のさらなる向上に取り組む。

2. 「認め合い 支え合える集団づくり」

- ・一人ひとりの個性を大切にするだけでなく、一人ひとりのちがいを素晴らしいものとして、互いに共有しながら、共に高め合っていこうとする学級集団づくりを行う。

3. 「いろいろな運動を通した体力づくり」

- ・いろいろな運動を体験させ、その体験の中でスポーツの楽しさを知り、運動することの意欲を高める。
- ・体育的行事の実施や授業改善を通し、体力づくりを行っていく。

4. 「人とのつながりを大切にした体験活動」

- ・さまざまな行事等を通し、学級、学年だけでなく、他学年の子どもたち・ゲストティーチャー・保護者の方・地域の方々など、多くの人とのつながりを通し、学校や地域を大切に思う心を育てる。

《3つの安心》

1. 《学びの安心》

- ・学習規律（返事、持ち物等）を確立する。
- ・ICTを授業の中で活用し、考える力・発表する力を伸ばす指導法を開発する。
- ・個に応じたきめ細かな指導を行うため、3年生以上の算数において習熟度別指導を実施する。
- ・どの子にも学ぶ喜び、分かる楽しさを得るため、「学習のユニバーサルデザイン化」を図る。
①視覚支援 ②見通しを示す ③板書の工夫 ④肯定的評価 ⑤話し方の工夫
- ・読書活動を推進し、本に親しむ時間を増やす。
- ・確かな学力育成に向けて、教師個々の指導力の育成を図る。
- ・校内研修を充実させ、研究授業を通し教師の授業力を高めるとともに、授業改善を図る。
- ・校内通級および個別支援を実施し、課題のある児童に対する学習支援を行う。
- ・外部人材の活用を図り、多様な学習活動を進める。

2. 《なかまの安心》

- ・いじめ、不登校、体罰のない学校づくりをめざす。
- ・道徳教育の充実をめざし、効果的な教材や資料を選定し、計画的に進めていく。

- ・本校の人権教育の目標を全職員で再確認し、全ての教育活動を通して、互いの人権を尊重し、差別をしない子どもを育てる。
- ・ちがいを認めあい、分かち合える仲間づくりを進めていく。
- ・生徒指導においては、生徒指導担当者を中心に組織的な対応を行っていく。特に問題行動発生時には、機敏な組織的対応をとる。
- ・全職員で情報を共有し、課題に対して全職員で対応する。
- ・一人で抱え込まず、相談をするとともに、常に管理職に報告する。

3. 《しせつの安心》

- ・花いっぱい運動を推進し、美しい学校環境をつくる。
- ・日々の清掃活動を徹底し、校内美化に努める。
- ・教室内外の整理、整頓に心がける。
- ・校内、校外の危険個所を常に把握し、事故防止に努める。
- ・校内施設に関して、安全点検をさらに進め、安全な施設維持を進める。
- ・交通ルールを徹底指導し、登下校時の安全対策を図る。
- ・災害および不審者侵入に備えて、避難訓練を実施し適切な対応がとれるようにする。